

第 6 回土浦市公共施設等再編・再配置計画策定委員会での主な意見について

(1) 計画改定(案)について

(2) パブリック・コメントの実施について

No.	主 な 御 意 見 等	回 答・対 応
1	・市民の方全体に、どうやって問題意識を持っていただくか。見せ方について、資料はたくさん作り込んでいただいているのですが、個別の施設単位ではなく、大分類の中で、根拠法・条例に基づき、当時の社会的背景や人口動態が今ではどのような問題が出てきているのか、また民間での代替はされているのか等を、絵などを使用し一目で分かるような一覧などでお示しできればと思います。子育て世代や若い方々が問題意識を持ち、幅広い、いわゆるサイレントマジョリティと言いますか、そういう方々の意見も吸い上げられればいいなと個人的には思っています。どれだけ関心を持ってもらえるか、手を変え品を変え、どんどん色々な形でアプローチをされていた方がよろしいかと思います。	・資料の 3-3 で概要版という、ボリュームのある資料を 8 ページにまとめたものを作成しております。また社会的背景ですとか、一目で分かるようにというところがあまり強調されていない部分もありますので、概要版も含め、改めて内容を精査させていただきますと思います。 ⇒再編・再配置の必要性や、公共施設を取り巻く課題が一目で分かるような資料について、イラストを用いてを作成しました。 現在は市ホームページにて公開しています。 (P 4)
2	・例えば、他の自治体でも計画策定の際に、ホームページにその意図を伝える短いワンポイント動画を置いているように、パブリックコメントのホームページのところに、簡単なパワーポイントで解説しているような動画を置いてみるのも一案かなと思いました。 ・資料 3-3 は、本当にきっちり短くして頂いていると思うんですけど、それでも、文字が多く、市民の方はちゃんと読もうとするのは難しいのかもしれないと思っていて。もっと知りたければこちらも見れる、という風に資料がそろっていれば、一番最初の入口の、そもそもこの大きな変化を検討しているんですという所が目を引くと思います。そこに問題を感じて、見ていただくためには、もうちょっと情報を落として、大事なものをお伝えするようなものがあって良いかなとも思いました。 ・資料 3-1 の、跡地利用の推進の業務フローを今回検討して追加いただいて、これはとても必要だったと思います。検討していただいてよかったなと思っています。	・ホームページの方に、パワーポイントの動画を置くということで、できるかどうか検討したいと思います。 ⇒当市のこれまでの取り組みをまとめたパワーポイント動画を作成いたしました。現在は市ホームページにて公開しています。 (資料1-1)

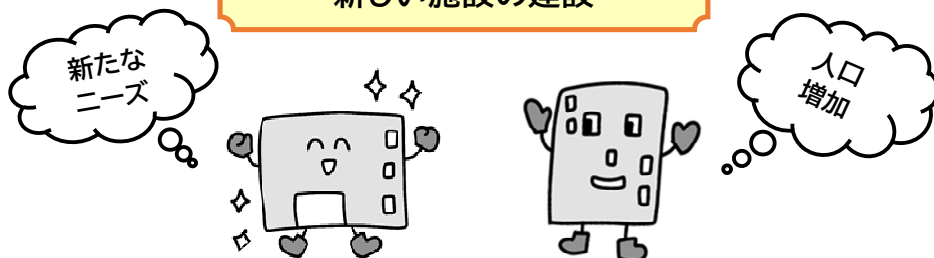
No.	主 な 御 意 見 等
2	・ 民間の方に跡地利活用を提案していただく際の部署は、行政経営課になるのか、企業誘致の部署とかがメインになっていくのか。というのは、民間からの利活用提案をしてもらうような仕組みが別途あると、もう少し活用が進んでいるところがあって。その辺が、再編計画を検討している部署の業務範疇なのか、それとも別な部署の方で、もっと積極的にやっていくようなことがありえるのか。 ・ 市場化テストとか協働化提案など、公民連携の新しい動きがたくさん出てきているので、できればそういう流れになっていけばいいなと思いました。 ・ 例えば、温浴施設の問題は、この計画の中では継続は難しいという検討はしている一方で、ニーズもあったりするものなので、民間の方で提案をいただいたり、サービスを埋めていけるような方向があっても良いのかと。この計画で書けないにしても、今後どこかで検討いただければと思いました。
3	・ どのケースでも同じですが、例えば児童発達とかでは、ある程度はつきりそこを利用する人っていうのがいるわけですね。そういう方たちの話を十分に聞いて、閉鎖する、そして新しく作るというような場合においても、市民のニーズ、当事者のニーズ、その辺りをしっかり聞いて、一つ一つ丁寧に進めて欲しいと感じました。 ・ 具体的な文章の中で、母子という言葉があり、母と子供というようなとらえ方で書いてあると思いますが、母子だけではありませんので、そういうところはしっかり書いていただきたいなと思っています。 ・ 資料3-1、P3の跡地利活用に係る業務フローの③、民間の活力導入、サウンディングの部分になります。利活用の方針整理ということで、一番下にありますように、必要に応じて、住民説明会やサウンディング等を行って、市民ニーズや民間のニーズ、それから不動産の市場性などを政策企画課の方で調査していくような位置付けにしております。 ・ 児童発達支援センターの利用者のニーズですが、所管課の方とすり合わせをしながら、生涯学習館の跡地ということで、計画の位置付けをしてきたところです。所管課におきましても、利用者のニーズを把握されてると思いますので、今後につきましても、そういったところを大切にしていきたいと思っております。 ・ 以下の通り修正しました。 ⇒（計画書P23）母子での通所 ↓ 親子での通所

No.	主 な 御 意 見 等	回 答・対 応
4	令和15年に、次の改定の計画を作るという話について、趣旨はよく分かるし、基本的には、そのこと自体には反対はないんですけど、そこに至るプロセスとして、リアルタイムに変更の可能性みたいなのをどう考えてるのか気になりました。例えば、大きな災害の際などにはどのように、その計画案の中に入れていくのか、或いはその時点でもう判断せざるを得ないことが、出てくるだろうと思います。そういう場合には、スケジュールそのものではないのかもしれないけど、体制としてどういうふうに、対応していくのかお考えを聞かして欲しいなと思います。	今回につきましては、令和24年度までの20年間ということで計画をしております。現在は地区ごとの方針を策定していき、それが終わるのが令和14年ということになります。ここで一旦改定予定をしておりますけれども、災害や社会情勢、市の方針が大きく変わる等、大小様々な要素で変更しなければいけない部分が出てくることもあるかと思えます。その際は、都度計画の改定をしていきますし、体制につきましては、計画策定後は、内部の会議を推進本部、外部の会議を推進委員会とし、こちらを毎年開催し、対応していきたいと考えております。
5	今まであった施設が無くなるということは、どの施設においても、利用されてる方から見ると、反対といえますか、反発があると思うんですけども、やはり土浦市の、財政のこととかいろいろ考えますと、建物の耐久性も踏まえて、集約・整理は必要なことだと思います。その中で、新しく作られる施設が、例えば遠くてもシャトルバスで自分達も行けるとか、そういう方法もあるということを、これから利用される市民の方に懇切丁寧に説明していかなければならないのかなと思います。	以下の下線のとおり追記しました。 ⇒（計画書P10） 3）集約・複合化、施設共有の推進 施設量の適正化にあたっては、市の施設だけではなく、県施設や民間施設のほか、地域の集会所など、市施設以外の施設やサービスを踏まえるとともに、施設へのアクセスのしやすさなどにも目を向けながら、集約・複合化の検討を進めます。

公共施設を取り巻く課題

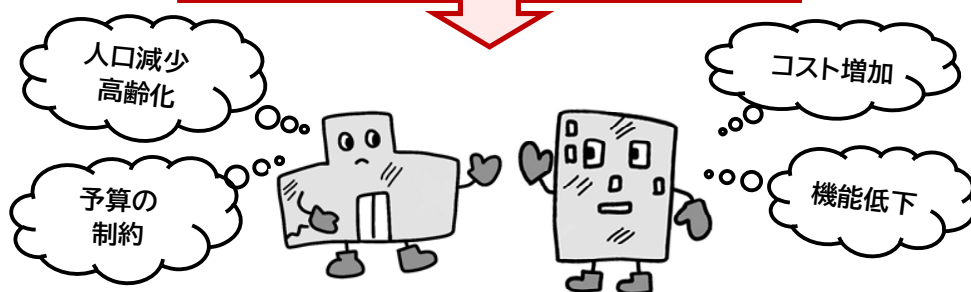
《高度経済成長期(昭和40年～50年代)》

新しい施設の建設



《現在》

老朽化した施設が一斉に更新時期へ



《今後の課題》

- ・施設の安全性の確保
- ・施設量の見直し(集約・複合化や廃止・解体など)
- ・行政サービスの維持向上
- ・コスト削減

いろいろな課題があるよね・・・！



土浦市イメージキャラクター つちまる

様々な課題に対応していくには・・・



再編・再配置の
取り組みを進めて
います！